

## 日本発ドイツ+ウィーン便り : Silvester und Neujahr

久々に年末年始をヨーロッパで過ごしました。

今回はなんだか移動に忙しい日程になってしまいましたが、12月31日の夜19時頃にとある街からFrankfurtに戻ってきました。12月24日のクリスマスと並んで旅行者にとって要注意なのが、この12月31日のSilvester (ジルヴェスター : 大晦日)。どちらもFeiertag (ファイアーターク : 祝日) ではないのですが、夕方16時にはお店も閉まってしまう。また他の祝日と違うところは、なんと、レストランも閉まってしまうこと！



なので、この日は、まずは夕食の確保！◎

大きな街なら、駅とか空港とか、あとは中華料理とか。まずはホテルに荷物を放り込んで、すぐ近くのHauptbahnhof (ハウプト・バーンホーフ : 中央駅) へ。同様の問題を抱えた(?)観光客でどこのお店も賑わっています。(駅中でもやっぱり閉まっているお店も多いです。)取り急ぎ、ドリンクとソーセージにポテトを確保。ちなみに、これでフランクフルト名物の牛肉ソーセージRindswurst (リンツヴルスト) 1本+揚げたてポテトPommes (ポメス) はスモールサイズです。

あとは、テレビの前で、Silvesterのお約束。

- ・ Berliner Philharmoniker (ベルリンフィル) のSilvesterkonzert (ジルヴェスターコンサート) の中継を聞いて、
- ・ "Dinner for One"<sup>1</sup>を見る。
- ・ BerlinのBrandenburg門周辺のSilvesterの様子の中継を見る。(ヨーロッパ最大のSilvester Party!)

ドイツのSilvesterは日本の大晦日の静けさと違って、爆竹にロケット花火で賑やかです。

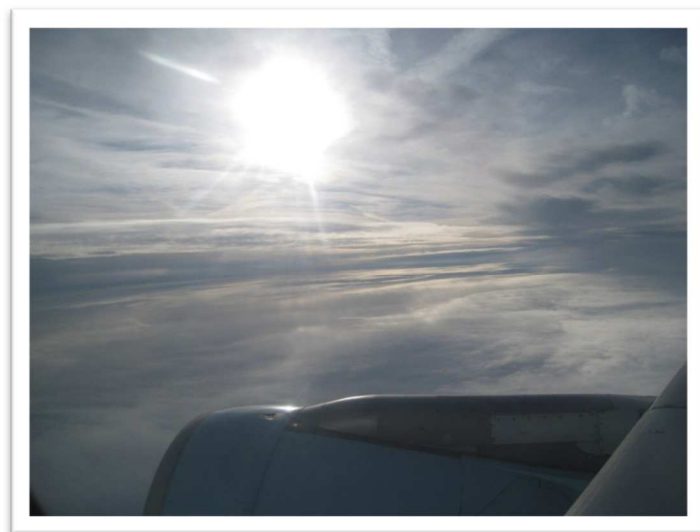
どうも法的には12月31日・1月1日の両日は終日花火を上げてOKらしいのですが、実際には31日の18時から1日の1時まで、というのが一般的なようです。大体20時くらいからポチポチ音がし始めて、特に日付が変わる頃にはどこも爆竹・ロケット花火の爆音でものすごいですよ～！(外にいと、花火は綺麗で楽しいですが色んなところからロケット花火が飛んでくるので、結構怖いです。場所によっては、花火の煙で霞んで見えるくらい) マイン河岸の花火も綺麗でした。

翌朝の出発が早いので、街中見物はほどほどに(中央駅付近は意外に静かでした。居住地域でないのと、警察署があるのがその理由かもしれません。◎) ホテルに戻りました。

翌朝は早く起きて電車で空港へ。街の中はどこもかしこも爆竹や花火の燃えカスだらけです。(あとは、ライター片手に、まだ使える爆竹が残ってないか探して回る子供たち。)

空港に着くと、あまりの人の多さにびっくり！どこでもかしこでも Frohes Neues Jahr! (フローエス・ノイエス・ヤール! : あけましておめでとう。他にもいろいろ言い方あり。) の挨拶が飛び交います。

<sup>1</sup> ドイツの大晦日と言えばこの番組！英国で作られたかなりベタなギャグなんですが、ドイツ人は何十年も大晦日になるとこの番組を見て毎年同じところで大笑いするんです。◎。 <https://www.youtube.com/watch?v=s71c2BeDfZI> でも見れますよ。ちなみに英語です。Silvesterにはあらゆるチャンネルで繰り返し放送されます。



2013年の初日の出は飛行機の中から。☺

お昼頃に到着したウィーンはクリスマス→Silvester→新年と引き続き「祭り」でした。ウィーンって本当にイベント上手というか、観光客の誘致がお上手です。

Stephansdom (シュテファンズドーム: シュテファン大聖堂) 前の Graben (グラーベン) 通りが一大パーティー会場になっていました。☺  
まあどこもかしこものすごい観光客でした。(今年は、ロシア人・イタリア人、あとはチェコとかハンガリーとかの東欧諸国からの観光客がやたら多くて、日本人はずいぶん減ったねえ…。とはホテルの人の話。)



いつもの風景ですが、この Stephansdom を見ると「ただいま」って言いたくなります。

何度見ても飽きない風景ってあるもんですね。  
(それがたとえ、どんより暗い冬の空であっても)  
と言いながら、大聖堂の中に入ることは滅多にないし、塔ですらまだ登って見たことないんですけどね。☺

Stephansdom の改修工事も着々と進んでいるようですが、完成してすべての覆いが取れるのは、いったいいつになるんでしょう？

花屋さんで見かけた、  
年末年始の縁起物の可愛い小さな鉢植え。

幸運を呼ぶキノコ、四葉のクローバー、煙突掃除人。  
(他には子豚とか。)

まあこの日、さすがに大都会ウィーンなので、飲食  
店はどこも営業中。  
(1月1日は祝日なので、通常の店舗はお休みです。)



その後お気に入りのお店でランチ。ここもいつも予約なしでは難しいお店なのですが、(でもタイミングよく、予約なしでお席をゲット!) この日は、まさに「人が押し寄せる」とはこういう状態のことか! と思う位、笑っちゃうような混み具合でした。夕方に行ったケーキ屋さんも同じような状況で、殺気立ったお店の人に「やっとドイツ語話す人がいた!」と変な大歓迎されました(十ちょっと愚痴まで聞かされました。)。そのくらいものすごい数の観光客が年末年始ウィーンに押し寄せたってことですかね?



ここはもう完全に「祭りの後」で撤収  
作業中になっていましたが、ウィーン  
の市庁舎前もクリスマス市に引き続き、  
Silvesterのパーティー会場になってい  
たみたいです。

このあとは、市庁舎前に屋外アイス  
スケート場ができますよ。

まだまだてんこ盛りの新年でしたが、  
またの機会に!

翌日、  
奇跡的に一瞬青空が見えた Hofburg  
(ホーフブルク: 王宮) から。  
この風景には馬車がよく似合います。

今年もドイツ・オーストリア、  
そしてイタリアからお届けします。

よろしくお願ひいたします。☺  
良い1年になりますように!

